

「イングリッシュマスターへの道」

(階段イングリッシュの活用)

R5.8.31

校内研修統計調査部

1 目的

- (1) 階段に貼ってある英単語への興味関心を高め、慣れ親しませるため。
- (2) 日常的に使う英単語（動物、果物、曜日、スポーツ、教科など）を無理なく身に付けさせるため。
- (3) 3・4年の外国語活動、5・6年の外国語科の学習において表現の幅を広げるため。
- (4) 1・2年のイングリッシュタイムをより充実させるため。

2 方法

- (1) 13項目の英単語を、内容や量に考慮して「級」として振り分け、目安として学年が終わるまでに覚え、また6年生が終わるまでにすべての単語を使いこなせるようになることを目標とする。
- (2) 振り分けられた項目にある英単語について、絵カードを見ながらすべて言えたら合格とする。

※絵ではわかりづらいもの（父、母など）には日本語をつける。

- (3) 検定は基本的に各担任が行う。児童の意欲に応じて、その他の先生からも検定してもらってもできる。

検定する時間は各担任に任せる。

例 ・給食を食べた後の待ち時間 ・テストが終わった後の時間 など

- (4) 子どもたちにカードを配り、合格したら記録をする。
- (5) クリアが早かった場合、先の学年の項目に進むことも認める。（飛び級制）
- (6) 練習はホームページの動画を見て行わせる。（家庭へ周知）

3 級別項目

- | | | |
|-----|----------|---------|
| 6級… | 果物、曜日 | (1年生目標) |
| 5級… | 乗り物、スポーツ | (2年生目標) |
| 4級… | 動物、野菜 | (3年生目標) |
| 3級… | 教科、月、家族 | (4年生目標) |
| 2級… | 施設、料理 | (5年生目標) |
| 1級… | 職業、国 | (6年生目標) |

4 その他

- (1) すでに過ぎている学年の項目については、現行の学年の検定が合格した時のみもどって検定してもよい。
- (2) 担任の負担にならないように十分配慮する。